

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして 盛り込みたいキーワードやフレーズについて

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズとその理由を下記枠内に記載いただき、5月24日(金)までにメールでご提出ください。

提出委員名：高木功雄

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

子どもは大切な存在、かけがいのない存在、社会の一員。自分も大切、友達、他人も大切。命が大事、安心安全な環境(家庭〔養育家庭・グループホーム含む〕、保育園・幼稚園、小中高校、施設、地域)で「愛情をもって育てられる権利」。安心できる居場所の提供。
失敗してもよい、やり直し、立ち直れば。

＜その理由(どのような思いから)＞

まず、子どもが育つ環境が安心安全でなければ、健全に成長できる前提を欠くことになる。家庭において愛情をもって養育されなければ、人としての愛着関係、信頼関係を醸成されずに育つことになる。その様な子どもが大人になって、家庭を築いても、子どもの愛情をもって養育することはできず、負の連鎖が生まれる。他者への思いやりの心が育たない。子どもや家族の国籍、言語、宗教、財産、性別(性同一性障害)、身体障害、財産による差別、不利益が放置されれば、良い大人に成長することは困難。
やり直し、立ち直りを通じて子どもは成長する。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

子どもの自由な意見表明権がみとめられること。子どもが関わる家庭、保育園・幼稚園、小中高校、施設、地域等がこの環境、場においても。

＜その理由(どのような思いから)＞

大人が子どもの声に耳を傾けなければ、子どもは正直に、自分の意見を表明できない。自分の意見が尊重されなければ、子どもは自信を持てず、大人からの愛情や信頼、大切な存在と実感することができない。成長できない。大人と子どもは支配、被支配の関係ではない。子どもが関わるどの環境においても、自由な意見表明を通じて、その場の、その社会の一員としての自覚、責任感が育てられる。子どもに優しいまちづくりを実現できる。
自分の自由な意見表明が認められることは、同様に他者の自由な意見表明も認められる環境があればこそであることを学べる。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

周りから嫌なことをされたとき、困ったときには遠慮なく大人に相談してね、ができる環境
子どもの権利実行・実現できる、相談・救済する機関の設置
区・大人の務めとして子どもの権利の実現・周知徹底を図ること宣言
保護者、園の保育士学校の教諭等大人もまず子どもの権利を知ろう、学ぼう。

＜その理由(どのような思いから)＞

権利を歌うだけでは、絵に描いた餅。
親からの暴力、ネグレクト、あるいは幼くして親や兄弟の面倒を見るヤングケアラーは権利の存在を知らなければ、権利侵害されていること自体気づく術をもてない。助けを求めることもできない。
相談する機関・環境がなければ、権利侵害が救済されない。
子どもを養育する大人が子どもの権利を知ること、知る機会がなければ、子どもの権利が侵害されていることに気づくことすらできない。

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして 盛り込みたいキーワードやフレーズについて

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズとその理由を下記枠内に記載いただき、5月24日(金)までにメールでご提出ください。

提出委員名: 谷村 一成

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

主語を子どもたち自身に

＜その理由(どのような思いから)＞

子どもたちが主役の権利条例なので、前文の主語を子どもたち自身にして、子どもたちが自らの権利を守るために制定した形式を取れないでしょうか

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

生まれながらにして当然に待っている権利

＜その理由(どのような思いから)＞

権利は義務の裏返しという根強い考え方に釘を刺したい

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

大人は子どもの権利を学ばなければならない

＜その理由(どのような思いから)＞

子どもだけでなく、大人の責任を明確にしたい

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズについて

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズとその理由を下記枠内に記載いただき、5月24日(金)までにメールでご提出ください。

提出委員名：田村

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

・人種、性別、性的嗜好、出身、貧困、病気、障害の有無などによって差別されず、ありのまま(自分らしく)幸せに育つ。

⇒低学年向けのメッセージにするのであれば、

・人間は、一人一人決して同じではありません。あなたとは目や肌の色が違う人、生まれつきまたは事故や病気で車椅子でしか移動が出来なかったり、目が見えなかったり、言葉でのお話が難しかったりする人もいます。あなたが嫌いなものを大切に思っている人もいるかもしれません。見た目が男の子でも、多くの女の子が好きなかわいらしい服が好きな人もいます。自分や周りのお友達と見た目や好きなもの、出来ることが違うからと言って、その人自信やその人が大切にしているものを壊されたり傷つけられたり、仲間外れにされたりすることはあってはなりません。一人一人がその子らしく、伸び伸びと成長することが守られます。それは、あなた自身も同じであり、人と同じでなくてはならないことはありません。あなたはそのままかけがえのない存在であり、あなたらしく生き、成長することは、あなたの権利なのです。

＜その理由(どのような思いから)＞

マイノリティ属性を有する子が、それを理由に不当な扱いをされないというキーワードですが、低学年向けに記載のとおり、どのような属性でも差別されないということは、ありのままの自分で良いというメッセージでもあり、権利を侵害され、萎縮している子ども達が自信や勇気を取り戻せるキーワードと考えるため。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

・子どもは自分の考えや感じたことを自由に表すことができ、その思いを実現するために適切なサポートを受けることができる。

⇒低学年向けのメッセージにするのであれば

・あなたはあなたが思ったこと、やりたいことを自由に周りに伝えることができます。周りの人の意見と違うからといって、それを隠す必要はありません。やりたいことを実現するために一人では難しい場合は、周りの人に助けを求め、協力を得ることができます。

＜その理由(どのような思いから)＞

様々な場面で、まず子どもの意見を聞くというスタンスの大人は多くないと感じているため。子どもに良かれと思って、親が子どもを正しく導く責任があるなど、子どもの為に善意で行っている行動が、子どもの望みとギャップを生じている場合の多くは、子どもの意見を聞いていないからであり、聞く必要性を認識していないからだと考えるため。特に、保護者世代に強くメッセージとして伝えたい。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

・杉並区？区民？大人？保護者は、子どもの権利を保障し、最善の利益を尊重する。

⇒低学年向けのメッセージにするのであれば

・子どもを育てている人もいない人も、年齢や性別にかかわらず、全ての大人の皆さんは、この条例に書かれた子どもの権利を理解してください。今までの信じてきたものとは違うこともあるかもしれませんが、これは全ての子どもに平等に与えられている権利であるということを認めてください。その上で、必ず子どもの意見を聞き、その思いを受け止め、子どもにとって最もよいことを第一に考え、子どもの成長を守り、一人一人の個性や能力を踏まえて、サポートしてください。

＜その理由(どのような思いから)＞

・大人が子どもの権利を学ぶきっかけがないため。大人に対し、明確にやるべきことを伝える必要があると考えたため。特に子どもに普段関わることが少ない人も、子どもの権利を守りサポートする責任があるということを伝えるため

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして 盛り込みたいキーワードやフレーズについて

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズとその理由を下記枠内に記載いただき、5月24日(金)までにメールでご提出ください。

提出委員名: 増田 亜子

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

子どもは、「一人の人間として権利や尊厳が大切にされる」

＜その理由(どのような思いから)＞

子どもは権利の主体として、一人ひとりがおとなと同様に人権を有していて、人としての尊厳が守られる存在であるということを伝えたい。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

子どもは、「生まれたときから安心して幸せに生きる権利を持っている」

＜その理由(どのような思いから)＞

全ての子どもには、安心・安全な環境のもと幸せに生きていく権利があり、それは生まれながらにして子どもが持っている権利で、努力や義務を伴うものではないということを伝えたい。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

子どもは、「どのような理由によっても差別されない」

＜その理由(どのような思いから)＞

いじめや虐待、貧困など困難な状況にある子どもや多様な背景（障害、外国ルーツ、不登校、ひきこもり、性的マイノリティ、等）が理解されずに苦しんでいる子どもがいることを認めた上で、子どもにはいじめや虐待から守られ、差別的な扱いを受けないで生きる権利があるということを改めて知ってもらいたい。

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

子どもは、「一人ひとりの違いが認められる」

<その理由(どのような思いから)>

一人ひとりの違いは個性、自分らしさで、それは尊重されるべきもの。子どもには自分らしく生き生きと生きる権利があり、おとなは子どもたちの自分らしさを大切にしていけることを示したい。

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

「子どもと一緒に、子どもにとってもっともよいことは何かを一番に考える」

<その理由(どのような思いから)>

子どもはおとなの所有物ではありません。子どもに関することを決めるときには、おとなは子どもの意見や考えを受け止め、子どもと一緒に、子どもにとって一番よいことは何かを考えていくことを示したい。

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

子どもは、「意見や考えを表すことができる」

<その理由(どのような思いから)>

子どもの中には、「どうせ自分の意見なんて聴いてもらえない」と諦めたり、無関心になる子どももいる。自分の思っていること、考えていることを自由に表明することは子どもの権利だということを伝えたい。その前提として、おとなには子どもの声に耳をかたむけ、それを受け止めることが大切だということも示したい。

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

「子どもにやさしいまちをつくる」

<その理由(どのような思いから)>

子どもの権利保障を実現するためには、養育者や教育関係者だけでなく、行政、地域が一丸となり、子ども関連事業の促進や子どもの権利の普及啓発等の活動を通じて、「子どもにやさしいまち」は全ての区民にやさしいまちであることを伝えたい。

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

「困っているときに相談すること、助けを求めることはいいこと」

<その理由(どのような思いから)>

困っていることや不安に思っていることを誰かに相談したり助けを求めることは恥ずかしいことではない。そんな時は自分一人で抱え込まずにおとなに相談してもいいのだということを伝えたい。

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズについて

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズとその理由を下記枠内に記載いただき、5月24日(金)までにメールでご提出ください。

提出委員名：向井温夏

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

「これは私たち杉並区の大人の決意表明です」(のような表現)

＜その理由(どのような思いから)＞

この条例は大人が作る子どもの権利を守る／保障のために作るものです(と理解しています)。そのことを前文にはっきりと明記することで、子どもたちに大人(われわれ条例づくりに関わった人たち)の思いを示したいです。このような表現を前文に入れることで、条例の主語が何か(誰か)を明確にすることができ、条文を読むにあたっての理解にもつながると考えます。
(考え方としては見本としてつけてくださった西東京市に近いです。武蔵野市や小金井市の前文は子どもが作ったかたち、あるいは子どもの声を代弁する文章になっています。でも、条例の中身は大人が作っているのに、前文だけ子どもに任せたり、代弁するようなかたちをとるのは、条例の責任を一部負担させている(押しつけている)ように思えます。子どもたちが何か、このような宣言をするのであれば「例えば杉並区子ども宣言」のようにして別のかたちを探るほうがよいと思います)

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

「かつて子どもだった大人たちより」(のような表現)

＜その理由(どのような思いから)＞

子どもと大人が目線をそろえるためのフレーズです。この条例は大人が上から目線で作ったものではなく、かつて同じように子どもだった者として、子ども時代に守られなければならない／保障されなければならないと考えたことを示すものです。そのことを伝えるために、このようなフレーズを締め言葉かもしくはそのような役割としてどこかに入れられるとよいと考えました。上記にもリンクしています。

＜その他＞

前文に盛り込みたい内容ではないのですが、前回の審議会までで気になっている点があるため、次回以降の検討事項としてお伝えしたく、こちらに記入します。

▼言葉の定義について…

- ・「家庭」とは？…前回の審議会です少し話にのぼりましたが、少しぼんやりしたままのような気がしました。条例の中にある程度の定義を入れたほうがよいと思いました。
- ・「育ち学ぶ施設」とは？…こちらもやはり、ある程度の定義が必要だと思います。「育ち学ぶ施設」は学校や幼稚園であるとイメージできますが、その他は？ また、「育つ施設」と「学ぶ施設」で分かれる場合もあります。(例えば、児童養護施設は「育ち学ぶ施設」なのか「家庭」なのかを条例にはっきりと入れたほうがよいと思います)

▼条文内容案について

- ・「休む」と「遊ぶ」ことについて明記されていませんが、やはりこれは入れたほうがよいと思います。子どもたちからの意見聴取内容を見ても、非常に多く表れている言葉です。子どもたちが保障してほしいと切に願っている権利であると受け止め、明記したほうがよいと思います。

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして 盛り込みたいキーワードやフレーズについて

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズとその理由を下記枠内に記載いただき、5月24日(金)までにメールでご提出ください。

提出委員名:板垣 幸絵

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

子どもは、生まれたときから、幸せに生きていく権利を持っています。

全ての子どもはどのような理由によっても差別されることなく、どのような困難な状況にあっても、命が守られ、幸せに育ち、生きる権利と尊厳が守られます。

子どもは、一人ひとりの『自分らしさ』が尊重され、あらゆる差別、虐待や体罰、いじめなどから守られ、失敗や間違いをしてもやり直して、自分らしく育つことができます。

子どもは、自分の考えや感じたことを自由に表すことができ、また、様々な活動の場に参加することができます。

＜その理由(どのような思いから)＞

最初に、子どもの基本的な権利を子ども達に知ってもらうために、子どもの権利をしっかりと記載した方が良いと思った。まだ、子どもの権利について知っている子どもの割合は十分ではないので、まずは子どもに知ってもらうため、しっかりと謳った方が良いと思った。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

おとなは、子どもの成長や発達に応じて、子どもにとって今最も良いことは何かを考えて、子どもが遊び、学び、休み、その他の活動ができるよう子どもの育ちを支えます。

おとなは、子どもが安心して自分の思いや考えを十分に伝えられるよう向き合い、言葉や表情から、子どもの思い、考え、意見を十分に受け止めます。

子どももおとなも、不安を感じたり、悩んだり、困ったりしたときは、相談したり、助けを求めたりすることができます。

＜その理由(どのような思いから)＞

子どもが自分の権利を知るのと共に、受け止めるおとなの心構えを記載した方が良いと思った。また、子どももおとなも助けを求めることができることも記載した方が良いと思ったため。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

杉並区に生きるわたしたちは、力を合わせて子どもの育ちを支え、子どもの権利を大切にします。

杉並区に生きるわたしたちは、子どもをパートナーとして、子どもにもおとなにもやさしいまちをつくることを宣言し、この条例を制定します。

＜その理由(どのような思いから)＞

杉並区の皆が、自分に関わることだということと、宣言することで、決意が表せるのではないかと思ったため。

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして 盛り込みたいキーワードやフレーズについて

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズとその理由を下記枠内に記載いただき、5月24日(金)までにメールでご提出ください。

提出委員名：佐野 篤

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

「しあわせに生きる」「自分らしく生きる」

＜その理由(どのような思いから)＞

子どもにはしあわせに生きる権利があり、「しあわせ」と「自分らしく」は通じるところがある。子どもにとっての「自立」は、自分で考えて、自分らしく行動することである。「自分らしく」は、いきいきと生きるためのキーワードであるから。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

「違いを認める」「違いを受け入れる」

＜その理由(どのような思いから)＞

違いを受け入れることは、大人にとっても難しい課題である。大人の方が難しいかもしれない。子どものうちから、違いを受け入れることをしていれば、多様性を認め、寛容さが育ち、よりよい社会になっていくと思うから。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

「人(誰か)を助ける」「人(誰か)の役に立つ」

＜その理由(どのような思いから)＞

これからの時代は、自分ができたり成功したりする喜びを「しあわせ」と感じるのはもちろんのこと、誰かを助けたり、誰かの役に立ったりする喜びを「しあわせ」と感じる人が増えることで、よりよい社会になると考えるから。「子供でも、人の役に立つこと、社会の役に立つことはできる。」

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズについて

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズとその理由を下記枠内に記載いただき、5月24日(金)までにメールでご提出ください。

提出委員名: 横田 和長

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

- ・子どもは、自分の考えや思いを、自由に話すことができる。
- ・子供を誰一人取り残さないこと
- ・子供にとって最もいいこと
- ・命を守られ、成長すること

＜その理由(どのような思いから)＞

大人(親)の顔を見て、忖度するのではなく、自分らしく自由に意見を言えることができるということを理解してほしい。

上記のフレーズ以外にも昨年度、行った意見交換等で、子ども達から出た言葉を拾ってくることも大切だと思います。実際に彼らが大人になった時に、自分たちの子どもや自分たちに関わる子ども達に対しても、子どもの権利を大切にできる態度が身に付いてほしいため

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

大人は、まず、子供の意見や考えをしっかりと受け止めること

＜その理由(どのような思いから)＞

大人のこれまでの経験則で、頭ごなしに子どもの考えを否定するのではなく、まずは子供の意見や考えをしっかりと最後まで聞く姿勢をもつこと。そして、子どもと対話しながら、子どもに問いかけ、考えさせていく環境をつくるのが大切であると思うため。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

区(事業者、関係諸機関)は、子どもの権利について、互いに協力し合いながら啓発活動を進めること。

＜その理由(どのような思いから)＞

まち全体で、大人が自分自身の権利を大切にするように、子どもも大人と同様、権利が守られ、尊重することが大切と考える。また、まち全体でも、子どもの権利を守るための啓発活動を継続的に続けていくことが大切と考える。“学校が～”とか、“〇〇が～”と、それぞれの責任を追及するのではなく、“学校”や“〇〇”と連携するような考えをもっていくことが、より子どもの権利を守ることにつながると考える。

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズについて

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズとその理由を下記枠内に記載いただき、5月24日(金)までにメールでご提出ください。

提出委員名：横山 正

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

子どもであるあなたたちのための条例じょうれい

＜その理由(どのような思いから)＞

子どもたちに読んでもらうことが前提だと思うので、以下の条文を読んでみようかという気持ちにさせるために、冒頭でこの言葉を入れたい。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

権利けんりとは、「やってもよいこと」、「やってもらえること」

＜その理由(どのような思いから)＞

まず権利という言葉の中身を、別な言葉でわかりやすくとらえさせることが必要だと考えるので

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

今まで、子どもこどもの権利けんりが十分じゅうぶんには守られてきませんでしたまも

＜その理由(どのような思いから)＞

なぜわざわざ子どもの権利に関する条例をつくるのかという意義を述べておく必要がある。

＜盛り込みたいキーワード・フレーズ＞

おとなには、子どもこどもの権利けんりを守る責任せきにんと義務ぎむがあります

＜その理由(どのような思いから)＞

おとなには、子どもの権利を尊重し守らなければならない義務があることを宣言しておくことが必要だと思えます。

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

子どもの権利は、あなただけのものではなく世界中の子どもみんなのためのもの

<その理由(どのような思いから)>

子どもイコール自分ととらえがちなので、くぎをさしておく必要があると思う。

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

権利はだれかに守ってもらわなければならないだけでなく、自分で守る努力も必要

<その理由(どのような思いから)>

どうかすると、主体性に欠け、だれかにしてもらわなければならないことが前面に出がちなので

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

この条例は、あなたを守ったり救ったりするためのものです。

<その理由(どのような思いから)>

いじめや虐待にあっつて、悲しいとき、困ったとき、絶望したときに、この条例を読んで解決策を見つけて欲しいので、

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

あなたにとって今日が楽しく、明日が待ち遠しい区にします

<その理由(どのような思いから)>

区の条例なので、区が目指す方向をひとことで表現しておくことが必要。「区」を、家庭、学校、児童館、町、公園などすべてにあてはまる。

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズについて

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズとその理由を下記枠内に記載いただき、5月24日(金)までにメールでご提出ください。

提出委員名：若松 弘樹

大前提として、前文は短い方が良いと考えました(あまり長い前文だと、それを見た時点で読む気が失せてきてしまう気がしたため)。
基本的には、子どもの権利のことを考えた文章を中心とし、まとめのところで『子どもの権利を守り、支え、ともに考え続けていく』という、大人と杉並区の想いを記載すれば良いのではないかと思います。

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

子どもは、一人の人間であり、大切な存在である
子どもは、人間として生きていく、当然の権利をもっている
子どもは、権利が保障され、健やかに成長できる。
子どもは、安心して助けてと言え、大人は子どもを守る

<その理由(どのような思いから)>

子どもは一人の人間であり、権利の主体であり、その権利が保障されるから
子どもが権利の主体であると同時に、大人とは異なる、保護や支援を必要とする存在であることを示しておくことが大切なため

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

子どもは、自分の権利について学び、身につけていくなかで、他の人の権利を大切にし、お互いに権利を尊重し合うことができる。

<その理由(どのような思いから)>

子どもの権利を尊重することで、互いの存在や意見などを大事なものと認めることにつながり、子どもと大人の関係、子ども同士の関係(人間同士の関係)が、他人を思いやり、よりよいものになることに触れておく必要があると考えたため

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして 盛り込みたいキーワードやフレーズについて

「(仮称)子どもの権利に関する条例」の前文に大人の思いとして盛り込みたいキーワードやフレーズとその理由を下記枠内に記載いただき、5月24日(金)までにメールでご提出ください。

提出委員名:新藤こずえ

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

よりよく生きること

<その理由(どのような思いから)>

「ありのまま」より一歩進めて、今、困難な状況にあっても、もっとよく生きることができるという思いを込めて

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

幸せ または 幸福

<その理由(どのような思いから)>

子どもの幸せ または 幸福がすべての中心であり、物事を進めるときの判断基準になるべきであるという考えかた

<盛り込みたいキーワード・フレーズ>

安心・安全

<その理由(どのような思いから)>

子どもが成長するための、安心・安全な環境をおとながつくる責任があるという考えから